

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン

著作物の健全なる創造サイクルの実現をミッションに、ひとつでも多くのコンテンツを、ひとりでも多くの人へ届ける。

売上高
1,250億円

営業利益
40.0億円

EBITDA
52.0億円

電子書籍市場規模
8,000億円

② 中長期の経営戦略

1. 書籍流通ソリューション企業への進化

約260万ファイルの電子書籍を扱う地位から、文字ものやオーディオブック等を含む流通ソリューション企業へ進化。多言語翻訳システムMDTSを開発し各国ニーズに合わせたコンテンツ配信を実現。

3. 戦略的M&A推進

投資後3年でROIC15%以上を目標とするM&Aを積極推進。電子書籍取次ポジション強化、海外販路拡充、AI・Web3等先端テクノロジー活用に寄与する国内外企業をリストアップし実行。

2. SC事業による地域コンテンツ創出

徳島ガンバロウズの運営を通じた利益貢献の拡大と、起業家支援を含めた幅広い活動で社会への信頼と認知を拡大。新アリーナ建設も追い風に最上位リーグ参入を目指す。

4. 経営資源配分方針

電子書籍流通事業に連結売上高の92.0%を投下。一方で偏重リスクを認識し、回収可能性を考慮した戦略投資事業への配分も推進。

③ 対処すべき課題

① 著作物の創出サイクルと価値最大化

- ・ 出版業界をはじめとするステークホルダーとの信頼関係強化
- ・ 国内に留まらず世界に向けた著作物の価値最大化に取り組む

② 人材育成・獲得と組織強化

- ・ 環境に感謝し敬意を持って自ら動く人材の育成・獲得
- ・ 従業員の意欲向上施策と適切な人事制度改善に注力

③ 地域社会との関係構築と発展

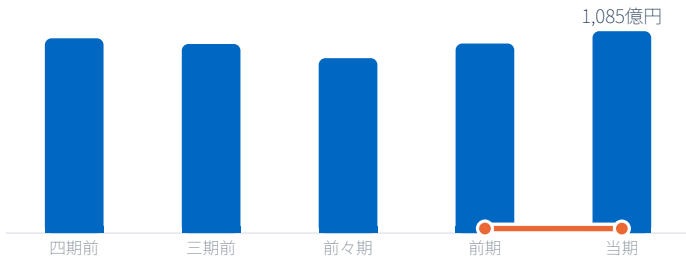
- ・ 創業以来の地域社会への支えに対する社会関係資本の拡大
- ・ 出版業界の枠を超えた地域課題解決への協働推進

面接で使えるポイント

- ・ 国内電子書籍市場が2023年度約6,400億円から2028年度約8,000億円に拡大する中で…
- ・ MDTS開発により多言語翻訳を低コスト・短期間で実現し、マンガだけでなく文字ものやオーディオブックも含めたグローバル展開…
- ・ 徳島ガンバロウズ運営を通じて地域創生に貢献しながら、2030年度売上高1,250億円・営業利益40.0億円の経営目標達成…

証券コード 3678

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,085億円営業利益率
2.3%財務健康度
31点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 48.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
611万円

情報・通信業内 390位/592社

平均年齢
36.2歳

情報・通信業内 398位/593社

平均勤続
6.4年

情報・通信業内 292位/593社

女性管理職
34.0%

情報・通信業内 36位/373社

男性育休
100.0%

情報・通信業内 32位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 第27回定時株主総会 その他の電子提供措置事項（交付書面省

